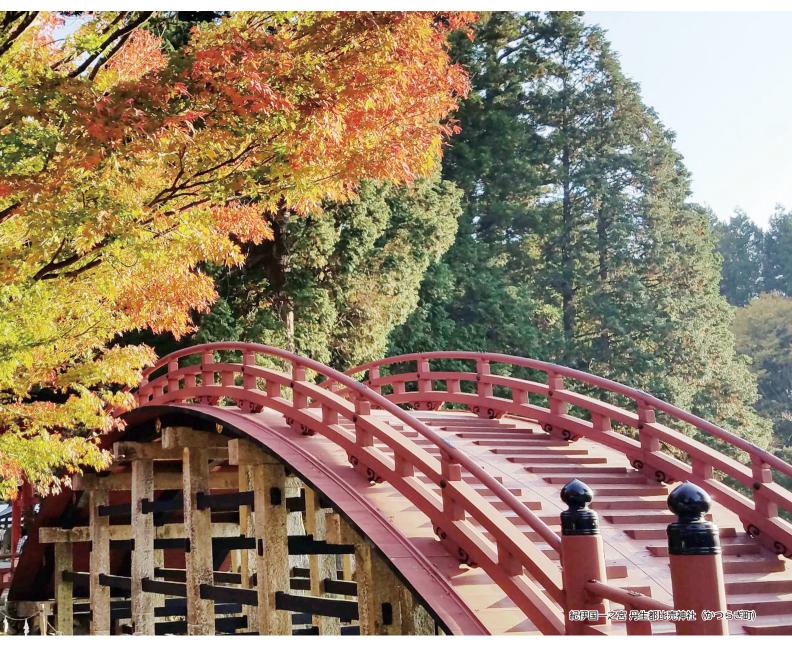
まんだらしず





Contents

特 集 ……きのくに医療連携システム青洲リンク PHR 機能

NOBORI アプリのご案内

就任挨拶 ……臨床感染制御学 教授/第二外科 教授

Topics ……診療科・中央部門の紹介/中央検査部

看護補助員研修を実施しました

Information ……膵がんドックのご案内

青洲基金感謝状贈呈式

初診時、再診時における選定療養費が変更になります

理念

私達は安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

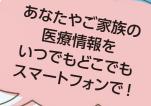
基本方針

- 1 患者さんとの信頼関係を大切にし、十分な説明と理解に 基づく同意を得て、安全な医療を行います。
- **2** 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。
- 3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
- 4 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。







NOBORI アプリ のご案内

きのくに医療連携システム青洲リンクについて(参加無料)

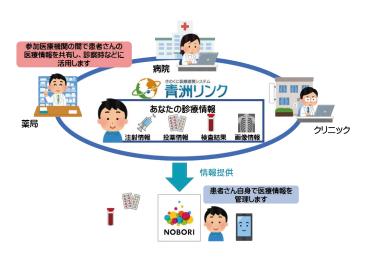


図 NOBORI アプリのしくみ

青洲リンクとは平成 25 年4月から和歌山県内で展開している医療連携ネットワークです。患者さんが今までに受けた検査やお薬などの診療情報を登録して、他の青洲リンク参加医療機関で共有し、医師等が診察など必要時に参照することができます。

例えば、今飲んでいるお薬の種類や、アレルギーの 有無などの診療情報を医療機関間で共有できます。

また災害時などに医療機関の情報が失われても、患者さんの情報は保存され、診療の継続に活用されます。

令和4年7月末時点で、県内の10病院、45診療所、112薬局が参加しています。また参加患者数は約1,500名です。

青洲リンクについての詳しい説明は青洲リンクホームページでもご覧いただけます。

http://www.seishu-link.jp/

NOBORI アプリとは(1年間の情報参照は無料)

※ NOBORI アプリは PSP 株式会社のサービスです。

このたび青洲リンクの PHR $_{*1}$ 機能として NOBORI アプリの運用を開始しました。

青洲リンクに参加し、NOBORI アプリをスマートフォンにインストールすることで、青洲リンクに登録している自分の検査結果やお薬などの情報をいつでもどこでも自分のスマートフォンで見ることができます。

また、自分の医療情報をご家族やかかりつけ医さんなど他の医療機関にも共有することができます。 スマートフォンをお持ちでないご家族の医療情報も、ご自分のア

プリに追加登録することで見ることができます。

現在、青洲リンク参加医療機関でNOBORIアプリを利用できるのは本院だけですが、今後他の青洲リンク参加病院にも順次拡張する予定です。

直近1年間の情報は無料で見ることができます。1年以上前の情報を見るには有料プランの申込み(月額100円税込み)が必要です。

※1 Personal Health Record (PHR) とは、個人の医療情報をひとまとめにして、デジタルデータとして自身が管理できるようにしたものです。



NOBORI アプリの利用手続き・本人確認は 青洲リンク事務局でおこなっています。

受付時間 平日 10~16時

青洲リンク事務局: 病院3階 医療情報部内

TEL: 073-441-0858



NOBORI アプリの活用シーン

(1) 入院中のご家族の医療情報を見る

新型コロナウイルス感染症などによる面会制限で入院患者さんに面会で きなくても、ご家族のスマートフォンで検査結果などを見ることができます。 入院中のお子さんの情報を、お母さんとお父さんで共有することもできます。

(2) かかりつけ医さんや旅先の医療機関で医療情報を見てもらう

かかりつけ医さんを受診する時に、病院の検査結果やお薬情報を見て もらうことができます。

旅先などで急に他の医療機関で診察を受ける場合も安心です。

(3) 遠方の家族の見守り

遠く離れていてもスマートフォンで検査結果やお薬情報を見ることができ るので、健康状態や今飲んでいるお薬の確認など遠方にすむ家族の見守り もできます。

尿酸 [3.7-7.8 , mg/dL] 尿素窒素 総ピリルビン [0.4-1.5 , mg/dL] IgG [861-1747 , mg/dL]



図 NOBORI アプリの 画面表示

(4) その他の便利な機能

ノート機能に、体調で気になることや次回受診時に医師に聞きたいことなど忘れないようにメモすることができ、文字だ けでなく、撮影した画像を残すこともできます。また血圧手帳やワクチン手帳に、ご自分で測定した血圧やワクチン接種の 履歴を記録することもできます。

NOBORI アプリの利用方法

必要なもの

- □診察券
- □本人確認書類 (保険証や 免許証など)

ご家族のみで手 続きする場合はご 家族の本人確認 書類も必要です。



①スマートフォンに NOBORI アプリをインストールします。







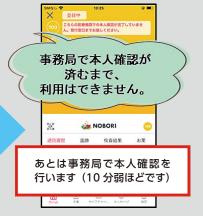
②新規登録 (ユーザー登録) をおこないます。

NOBORI



③「医療機関を追加」で 和医大を登録します。

青洲リンク PHR 機能



④「こちらの医療機関での本人確認が完了していませ ん」とメッセージが表示されます。 情報は本人確認が完了してから見ることができます。





利用手続き

⑤本人確認は病院 3 階医療情報部内の 青洲リンク事務局でおこないます。



医療情報部

スロの

YouTube に飛びます

青洲リンク事務局での手続き 時間が短く済みますので、ア プリのインストール・ユーザー 登録を済ませてから事務局に お越しいただくことをおすすめ します。

教授 就任挨拶

感染症に関する幅広いニーズにも対応できる地域医療への貢献



臨床感染制御学講座 教授 小泉祐介

令和4年7月1日付けで、 和歌山県立医科大学臨床感染 制御学講座 教授を拝命いた しました。就任にあたり、御 挨拶申し上げます。

ペスト・コレラ・結核など の例にもあるように感染症は 古来より人間の生命を脅かし てきた重大な疾患です。ここ

数十年のあいだ感染症は、治療の進歩によって克服された「過去の病気」と言われた時期もありましたが、

新型コロナウイルスや薬剤耐性菌など、今また様々な 感染症が世間を騒がせており、感染症教育の重要性が 再認識されつつあります。そういったなか当講座は、 細菌・ウイルス・真菌・寄生虫・原虫など様々な微生 物が引き起こす感染症に関する診療・教育・研究(感 染症学)に加えまして、院内感染の予防や対策の実践・ 教育(感染制御学)など、感染症にまつわる幅広いニー ズに応えるために新設されました。微力ではあります が、診療と教育、情報発信の面から地域医療に貢献し たいと考えております。

経歴

平成11年3月 滋賀医科大学 医学部医学科 卒業

平成11年5月 滋賀医科大学附属病院 第2内科 入局

平成13年6月 恩賜財団大阪府済生会吹田病院

消化器科 医員

平成16年 4 月 金沢大学 大学院

ウイルス感染症制御学講座(国内留学)

平成18年11月 滋賀医科大学附属病院

救急・集中治療部 助手

平成19年11月 滋賀医科大学附属病院

消化器・血液内科 助教

平成23年4月 国立病院機構大阪医療センター

感染症内科 医員

平成25年1月 滋賀医科大学附属病院

消化器・血液内科 助教

平成27年 1 月 愛知医科大学病院 感染症科 講師

平成29年4月 愛知医科大学病院 感染症科 准教授

令和2年6月 和歌山県立医科大学附属病院

感染制御部 准教授 (病院教授)

令和 4 年 7 月 和歌山県立医科大学

臨床感染制御学講座 教授

診療内容

主に入院患者さんの菌血症(菌が血液を巡って全身に炎症を起こす病気)を中心に、治療方針の決定・変更や治療薬の適正使用に資する助言を行っています。それ以外にも入院患者を対象に尿路感染症(膀胱炎・腎盂腎炎)・呼吸器感染症(肺炎・膿胸)・消化器感染症(腸炎・急性胆管炎・肝膿瘍)・神経症(脳膿瘍・髄膜炎)、感覚器感染症(眼・耳・鼻)・運動器感染症(骨・関節・筋肉)など多岐に及びますが、当該疾患の主治医と協力して治療に

当たります。外来では、令和4年8月時点では血液内科で週に1日(金曜日)、診察を行っていますが、診療内容も含めて順次拡大してまいります。

また、院内感染対策として病院内の衛生環境改善、 職員の実践指導、諸規定の 立案にも関わります。



地域の外科医療のさらなる発展を目指して



外科学第 2 講座 教授 川井 学

令和4年8月1日付けで 和歌山県立医科大学外科学 第2講座教授を拝命いたし ました。就任にあたり、ご 挨拶申し上げます。

県立医科大学として地域 の外科医療のさらなる発展 のために高度外科医療(高難 度手術と腹腔鏡手術・ロボット支援下手術による低侵襲 手術)を充実させることは

私たちの使命です。当科は癌治療の最後の砦として 難治性癌である食道癌・直腸癌・肝胆膵領域癌の手 術に代表される高難度手術に積極的に取り組んでおります。このために、他の診療科・他職種との連携による、より充実したチーム医療を行い、癌治療に対する抗癌剤治療、放射線治療、手術などによる集学的治療を発展させ、安全な高難度手術・予後改善を目標に全力で取り組んでおります。また、低侵襲手術として、ロボット支援下手術を現在の胃、直腸だけでなく食道・肝胆膵領域にも広げてまいります。さらに、和歌山医大発の治療法の開発によって、消化器癌治療成績向上を目指すとともに、地域に信頼される質の高い最先端の外科医療の提供に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

経 歴

平成7年3月 鳥取大学 医学部 卒業

平成7年4月 和歌山県立医科大学附属病院 診療医

平成9年4月 和歌山県立医科大学 大学院

医学研究科(外科学) 入学

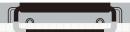
平成12年4月 国保野上厚生総合病院 外科 勤務

平成13年3月 和歌山県立医科大学 大学院

医学研究科(外科学) 修了

平成15年2月 和歌山県立医科大学 外科学第2講座 学内助教 平成17年4月 和歌山県立医科大学 外科学第2講座 助教 平成23年9月 和歌山県立医科大学 外科学第2講座 講師 平成24年5月 Mayo Clinic(Rochester, MN, 米国) に Visiting Clinician 留学

平成24年11月 和歌山県立医科大学 外科学第2講座 講師 平成28年6月 和歌山県立医科大学 外科学第2講座 准教授 令和4年8月 和歌山県立医科大学 外科学第2講座 教授



診療内容

私たちの教室は消化器・肝胆膵外科を中心として内分泌外科、小児外科、内視鏡外科、および一般外科を担当しており、主に食道癌、胃癌、大腸癌、直腸癌、肝癌、胆道癌、膵癌などの腫瘍外科を行っております。さらに、肥満手術、胆石手術、ヘルニア手術などの良性疾患手術も行っております。胃癌、直腸癌はロボット手術も先進的に取り入れ、関西有数のハイボリュームセンターで和歌山県下だけでなく、大阪府下からも多くの方が来院されております。肝胆膵領域の手

術件数も全国有数のハイボリュームセンターとして、低侵襲手術だけでなく、多くの高難度手術に取り組んでおります。さらに、癌患者さんに対する抗癌剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬、免疫治療なども積極的に行い、手術だけでなく集学的に癌治療を行っています。小児外科は、和歌山県下における唯一の日本小児外科学会の認定施設として、指導医1人、専門医1人の体制で、小児の消化器疾患全般およびヘルニアに対して治療を行っています。

さまざまな検査機器を用いて

診療科・中央部門の紹介/中央検査部

中央検査部では検体検査と生理機能検査を実施しています。3階の外来採血室の奥には、採血した検体を分析する検体検査室があり、臨床検査技師が検体分析を行っています。検体検査では血液だけでなく、尿や便・喀痰・脳脊髄液・胸水など体のあらゆる部位から採取した分泌液や体液を分析します。また生理機能検査では、心電図・脳波・呼吸機能検査・超音波検査など、直接患者さんと接して検査を行います。

当検査部では、2018 年に ISO 15189 を取得しました。これは、臨床検査室の品質マネジメントシステムと臨床検査の技術能力を求める国際規格であり、

和歌山県内の病院では初めて認定された検査室です。 ISOの取得により、業務の標準化、結果の信頼性の向上がなされ、より精確・迅速な検査データの報告が可能となりました。今年度は、外来採血の待ち時間短縮、診察前検査の60分以内報告を品質目標とし、取り組んでいます。また、新型コロナウイルス関連では、24時間体制でPCR検査を行っており、月平均*の実施件数は約1600件です。

今後も質の高い検査データを提供し、診断・治療に 貢献できるよう、努めてまいります。

(※ 2022年4~7月の平均値)



患者さんの検査データを提供しています。 中央検査部で稼働している検査機器 (一部) BD FACSLyric PRO FACSLY PRO F

看護補助員研修を実施しました

看護補助員は、看護師の指示のもと、看護の専門的 判断を要しない看護業務を行っています。現在当院で は 44 名が、看護チームの一員として活躍しています。

役割を担うために研修は必須で、毎年看護部内の委 員会が研修内容を企画し実施しています。

今年度は7月に「感染対策」について、感染管理認定看護師による講義と演習を実施しました。研修では、感染防止の基本である「手指衛生」の復習と「環境整備のポイント」として、消毒用クロスで拭いた医療機器の拭き残しを実際の目で確認し、日頃の業務を振り返りました。

研修後は「日頃の行動を見直す良い機会になった」「予防行動の大切さを改めて学んだ」という意見が聞かれ、学びを実践に活かしていくことを確認し合いました。

今後も研修を通 して、看護業務の 質と向上に努めて まいります。



(研修内容の具体例)

膵がんドックのご案内

膵がんは、現在、我が国のがんによる死因の約7%を占めており、 肺がん、大腸がん、胃がんに次いで第4位となっています。通常 の健康診断で見つけることは難しく、よほど進行しない限り自覚症 状が現れることはまれであるため、発見が遅くなる場合が多い病 気です。当院膵がんセンターでは膵がんの早期発見を目的に、下 記の3つのプランを用意した膵がんドックを開設しています。 (膵がんドックは完全予約制です。)

プラン名	内 容	検査内容	料金(税込)※
プラチナプラン (毎週火・木曜日実施)	胆・肝・膵すべて診る最も充実したプランです。超音 波内視鏡検査 (胃カメラ) も行うので、胃の状態も診 ることができます。	・血液検査 ・腹部エコー検査 ・MRI 検査 ・超音波内視鏡検査	137,060円
ゴールドプラン (毎週月・金曜日実施)	胆・膵を診るプランです。超音波内視鏡検査(胃カメラ) も行うので、胃の状態も診ることができます。	・血液検査 ・MRI 検査 ・超音波内視鏡検査	129,580円
シルバープラン (毎週水曜日実施)	精密腹部エコーで胆・肝・膵を診るプランです。検査 が比較的短時間で済み、超音波内視鏡検査 (胃カメラ) がないので体への負担が少なく、超音波内視鏡検査に 抵抗がある方向けの検査です。	・血液検査 ・MRI 検査 ・膵精密エコー検査	116,600円

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ドック前 PCR 検査を実施しています。上記は PCR 検査費用を含んだ料金です。 ※費用はすべて自費になります。

当院ホームページ (膵がんセンター) 及び院内設置パンフレット(2階入院センター横) に詳しい内容を掲載しております。

https://www.wakayama-med.ac.jp/med/suigandock



073-441-0489 (電話予約センター)

【受付時間】8:30~16:00まで (土・日・祝日・年末年始を除く)

■お問合せ -

073-441-0905 (ドックの問い合わせ)

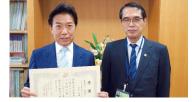
【受付時間】9:00~16:30まで (土・日・祝日・年末年始を除く)

青洲基金感謝状贈呈式

本学では、医療系総合大学としての一層の発展を目指し、教育 研究の向上事業、附属病院の環境整備事業及び修学支援事業等 に活用させていただくため、和歌山県立医科大学青洲基金を設置 しています。

この度、本基金に、医療法人青洲会なかつか整形外科リハビリク リニック理事長の中塚映政様から多額のご寄附をいただきました。 そのご厚意に感謝の意を表して、令和4年8月25日に、本学の理 事長室において、宮下和久理事長から感謝状の贈呈を行いました。

いただいたご寄附は、教 育、研究、診療に関する活 動等の推進及び施設の整 備充実等に有効に活用さ せていただきます。



中塚映政様(左)と宮下和久理事長(右)

初診時、再診時における選定療養費が変更になります

令和4年度診療報酬改定により、令和4年10月から当院を受診される患者さんの初診時、再診時における選定療養費の負担額が 変わります。

1 ご負担いただく金額

※令和4年10月1日以降において、別に選定療養費を求める患者さんの初診・再診については、保険 給付範囲から初診時は医科 200 点、歯科 200 点、再診時は医科 50 点、歯科 40 点を控除します。

【初診時の選定療養費】

令和4年9月まで 医科:5,090円(税込み) 歯科:3,050円(税込み) 令和 4年 10 月から

医科:7,130円(税込み) 歯科:5,090円(税込み) 【再診時の選定療養費】

令和4年9月まで 医科: 2,550円 (税込み) 歯科: 1,520円 (税込み) 令和 4年 10 月から

医科:3,050円(税込み) 歯科: 1,930円 (税込み)

2 対象となる方 初診時:他の病院又は診療所からの紹介状なしに当院を受診される初診の患者さん

再診時: 当院より、他の病院又は診療所に対する文書による紹介をおこなう旨申し出た後も、

引き続き当院を受診される再診の患者さん

※なお、次のいずれかに

該当する場合は、対象外となります。

- ・救急車で搬送された場合 (軽傷の場合を除く) ・公費負担医療制度の対象となる場合 (一部例外あり)
- ・当院の他の診療科から院内紹介されて受診する場合 ・医科と歯科の間で院内紹介した場合
- ・特定健康診査、がん検診等の結果により精密検査受診の指示を受けた場合
- ・外来受診後そのまま入院となった場合 ・治験協力者である場合 ・災害により被害を受けた場合
- ・労働災害、公務災害、交通事故、自費診療の場合 ・その他、当院が直接受診する必要性を特に認めた場合 等



予約センターからのお知らせ ~診察予約のご案内(初めて受診される方)~

当院の外来受診は、原則として「予約制」とさせていただいております。 ご予約は、できるだけかかりつけの医療機関などから FAX でお申し込みください。

■医療機関からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などから当院所定の「予約」 申込書」にて電話予約センターに FAX 送信して
- 2 20分以内を目途に予約をお取りし、予約日時・医師 名を記載した予約票を発信元の医療機関に FAX 返信いたします。
- ③ 予約当日は、予約票・紹介状・保険証・診察券 (受診歴のある方)・服用中のお薬・お薬手帳を ご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

■ご本人からのご予約

1 かかりつけの医療機関などで紹介状をご用意くだ さい。

※特定の医師による診療をご希望の場合は必ず「○○科 ○○医師」と明記した紹介状をご用意ください。

- 2 「当院予約センター」に直接お電話ください。
- ③ 予約当日は、紹介状・保険証・診察券(受診歴 のある方)・服用中のお薬・お薬手帳をご持参の うえ、外来受付に直接お越しください。

電話予約センター(患者支援センター)

TEL

073-441-0489

(受付時間:月~金8:30~16:00)

FAX

073-441-0805

(受付時間:月・火・水・金9:00~19:00/木9:00~17:00)

※院内に予約窓口も開設しています。(月~金 9:30 ~ 17:00)

病院ボランティア募集

患者さんが安心して治療を受けることができるようボランティアの方を募集しています。 ※対象:平日に活動してくださる18歳以上の方。詳細はお問い合わせください。

外 来:8時50分~11時50分 活動時間

問い合わせ先 和歌山県立医科大学附属病院 代 表: 073-447-2300

医事課 ボランティア担当



みなさまの 温かいお力を お待ちして おります。



当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを 確認し、尊重します。

- 1 個人として尊重され、平等に良質な医療を受ける権利が あります。
- 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 3 十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受 け、あるいは拒否する権利があります。
- 4 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利が あります。
- 5 個人情報やプライバシーを保護される権利があります。
- ※当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診療を行っておりますが、 他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった 場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。著しい場合 は警察に通報いたしますのでご了承ください。

患者さんへのお願い

当院では、さまざまな医療を提供しておりますので、次のことを十分 ご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

- 1 適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に 関する情報をできる限り正確にお話しください。
- 2 医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得 できるまでお聞きください。
- 3 治療上必要なルールはお守りください。また治療を受け ていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
- 4 すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするた め、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
- 5 当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護 学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協 力をお願いいたします。
- 6 医師、看護職員、病院職員に対する謝礼、贈答品は固く お断りしています。

和歌山県立医科大学附属病院広報誌 まんだらげ(Vol.62) 2022年10月発行 発行/和歌山県立医科大学附属病院 〒641-8510和歌山市紀三井寺811-1

073-447-2300

ホームページアドレス http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital まんだらげはホームページからもご覧いただけます。 http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital/info/kohoshi/index/html

外来受付時間

- 受付時間 午前8時50分~午前11時30分
- 再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)
- 休診日/土曜日·日曜日·祝日·年末年始(12月29日~1月3日) ※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。

次号発行は 2023年 1月です。